

『visual core pharma 薬物治療学 改訂 13 版』追加情報

いつも小社出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。
当該書籍につきまして、追加情報をお知らせいたします。

■p.843 **B** 代謝拮抗薬の 8 行目

【誤】

【薬理】複数の葉酸代謝酵素を同時に阻害することにより，DNA 合成を阻害する。

【正】

【薬理】複数の葉酸代謝酵素を同時に阻害することにより，DNA 合成を阻害する。

2024 年 8 月現在

■p.326 **B** β_2 刺激薬の 7 行目

【誤】

②SABA（経口）：クレンブテロール塩酸塩（スピロペント®），テルブタリン硫酸塩（ブリカニール®），サルブタモール硫酸塩（ベネトリン®），ツロブテロール塩酸塩（ベラチン®，ホクナリン®），フェノテロール臭化水素酸塩（フェノテロール臭化水素酸塩 DS 小児用 0.5%「タカタ」），プロカテロール塩酸塩（メプチン®）。

【正】

②SABA（経口）：テルブタリン硫酸塩（ブリカニール®），サルブタモール硫酸塩（ベネトリン®），フェノテロール臭化水素酸塩（フェノテロール臭化水素酸塩 DS 小児用 0.5%「タカタ」）。

【追記】

⑤LABA（経口）：クレンブテロール塩酸塩（スピロペント®），ツロブテロール塩酸塩（ベラチン®，ホクナリン®），プロカテロール塩酸塩（メプチン®）。

2024 年 6 月現在

■p.542 上から 14 行目

早期の患者を対象として、アルツハイマー病治療薬のアデュカヌマブはレカネマブに先行して米国で認可されており、本邦でも認可に向けて治験が継続中でした（執筆時点）。しかし、レカネマブの認可により治験が中止され、日本での開発は中止となりました。

上記の発表に伴い、本書の記載内容を以下のとおり更新いたします。

【更新前】

早期の患者を対象として、アデュカヌマブ（未承認）とレカネマブが初めて認可（2023年）された。

【更新後】

早期の患者を対象としてレカネマブが初めて認可（2023年）された。

2024年4月現在